

出場おめでとうございます

全国九州大会出場選手激励会

9月26日および10月9日、役場庁議室において、藤本町長より出場選手へ激励費が手渡されました。大会名、出場選手名については、次のとおりです。

【大会名】

第67回国民体育大会

ぎふ清流国体アーチエリー競技

【出場選手名】

上原 佑太くん(永川高校3年・立神)

【大会名】

第18回九州ユース(U-15)

フットサル大会

【出場選手名】

光永 誠司さん(コーチとして)

(エスペランサ熊本・樽)

長谷川康裕さん(コーチとして)

(エスペランサ熊本・高塚)

稲田 博己くん

(竜北中3年・若洲・エスペランサ熊本)

宮田 大夢くん

(竜北中3年・下鹿島・エスペランサ熊本)

【大会名】

第12回全国障害者スポーツ大会

ぎふ清流国体

【出場選手名】

穴見 繁さん(上鹿島)



▲穴見繁さん

▲左から長谷川康裕さん、稲田博己くん、宮田大夢くん

▲上原佑太くん

地域の人と触れ合って

氷川中3年生チャレンジショップ

10月3・4日、まちづくり情報銀行およびまちづくり酒屋において、氷川中学校3年生によるチャレンジショップが行われ、多くの買い物客でにぎわいました。

この取り組みは、生徒自らが仕入れ宣伝、販売などを行い、表現力やコミュニケーション能力などを養うものです。出店された6つのお店には、それぞれ特徴があり、生徒らは一つでも多くの商品を売ろうと工夫を凝らし、販売していました。

また、2日目には、ひかりんとくまモンも来店し、コラボによる漫才ショーやくまモン体操などを披露しました。



▲くまモンをおもてなし

黒潮クラブが頂点

第7回氷川町熊日旗ナイターソフトボール大会

10月1日から10日にかけて、桜ヶ丘グラウンドにおいて第7回氷川町熊日旗ナイターソフトボール大会が行われ、町内8チームが参加しました。

2パートに分かれての厳しい予選を勝ち抜き、決勝戦に進んだのは、黒潮クラブと神宮。共に全勝同士で、強打が自慢の2チームの対戦となりました。試合は、序盤から点を取り合い、二進一退の攻防が続く中、打線を爆発させた黒潮クラブが3回表に逆転。神宮の猛追をかわし11対5で勝利しました。3年振り2度目の優勝に選手からは笑顔が溢れました。



▲黒潮クラブの皆さん

町民文芸

短歌

ロンドンに科学の推移背に重し
生きる証を世に伝えたし
法道寺 本田 花風

フラダンスゆれるお尻に息を呑み
豪華デイナーも暫し手付かず
北野津 宮本 末秋

しっかりと背負ひ背負はる仕草見て
おんぶバツタゆらぎて去る
高塚 桑原ゆき代

ピーフカレーそれとも煮込みハンバーグ
三ツ星シェフの気持になりて
西野津 古崎スエノ

環境の美化に主役の下水道
整備の成りて有難きかな
吉本 高橋 澄子

梅雨最中雷光浴びて植えし田の
猛暑台風に耐えて黄金の
北鹿野 早川 博

薫の香の引綱強く握りしめ
俵せ手繰る民集う
南鹿野 尾崎 京子

大量の雨運び来る台風は
被害も出れば功罪半ばす
吉本 橋村 正之

入浴剤入れし湯舟は海の色
長夜の一時安らげし
西野津 古崎 栄子

俳句

綱取を掛けた戦い見事さよ
感動にわいた相撲の魅力
高塚 竹中 力

錫杖をつりて六根清浄と
修験の嶺もすてにもみじ葉
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

旅の風萩の白粉落としゆく
北野津 宮本 末秋

庭先に小春柿もぐ枝ぐり
高塚 桑原ゆき代

居待月中空に有り静かなる
西野津 古崎スエノ

一面の黄金の穂波我が里よ
吉本 高橋 澄子

縁ありて苦楽絆の半世紀
北鹿野 早川 博

穂頭を揺らす豊穡の風が吹く
南鹿野 尾崎 京子

名月や雲に揺る影法師
西野津 古崎 栄子

墓古し故人の使いか彼岸花
高塚 竹中 力

書に飽きて肩の子猫と日向ぼこ
町 香山菊童子

骨折の痛み背負ひて秋暑し
町 香山セツ子

行く秋や阿蘇の遠嶺を見て老ゆる
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

金木犀匂ふひと日の静寂かな
桜ヶ丘 吉田 照子

大輪の花あでやかに酔芙蓉
町 田中 澄子

赤とんぼ風評多き世に生きて
桜ヶ丘 宮崎トシ子

親子伝

法道寺 本田 花風

本棚のほとんどが文学書で開いたことのないままである。

昨年、北杜夫が八四歳で亡くなった。捜すと「どくとるマンボウ小事典」が見つかった。ナンセンスに満ちたユーモア作品が満載されていたが、一方には「榎家の人びと」のように絶賛された作品もある。

マンボウも医師、父も斎藤病院の院長で歌人である。茂吉が気になって彼の研究本を眺めてみると面白い話に出くわした。彼の養父が茂吉は田舎臭いからシゲヨシと呼べと言われたことから生涯本名を「しげよし」と主張したが、呼称は一般化しなかった。杜夫(本名・宗吉)はカミナリ親父に抵抗できず東北大学医学部進学したが大学時代に小説を書き、作家としての人生を通した。「北」

は育った北国のためにそうしたとあるが、宗吉も田舎臭く、父親のように杜夫とお洒落に雅号を付けたのではなからうか。作風は違えども名へのこだわりは共通点があったように思える。

夫婦月

吉本 橋村 正之

強い体じゃないおまえ
根を詰めてはいけないよ
少しその手を休ませな
おまえに苦勞背負わせる
芽の出ぬ俺が情けない

手を休めたらおいでよな
丁度今夜は十五夜で
優しく照らすお月様
綺麗な姿勢眺めては
暫し憂き世を忘れよう

先の見え無い今は冬
めつきり薄くなつた肩
健気につくるその笑顔
待っておくれよ必ずや
花咲く春を見せてやる



投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。
また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。